

OISA NEWS

OITA
INFORMATION
SERVICE INDUSTRY
ASSOCIATION

2013. 1

58

発行：大分県情報サービス産業協会
会長 森 秀文
<http://www.oisa.jp>
編集：広報委員会
事務局：大分市城崎町2-6-31
(大銀コンピュータサービス(株)内)
TEL (097) 537-5918
FAX (097) 534-4545
印刷：佐伯印刷株式会社

大分県情報サービス産業協会



©OITA F.C.

CONTENTS

2013年迎春 森会長挨拶	2
第24回OISA技術交流会開催	3
第21回サウンズコンテスト	4
第19回OISA技術力アップ研修	6
第18回OISAボウリング大会開催	7
平成24年度 第1回視察研修旅行	8
新年例会のご案内	8



豊後梅

2013年 迎春

～大分県情報サービス産業協会会長 新年ご挨拶～



大分県情報サービス産業協会
会長 森 秀文

新年あけましておめでとうございます。

はじめに、昨年北部九州を襲った豪雨災害は中津市、日田市、竹田市にも大きな被害をもたらしました。被害に遭われた方々へ心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願うものであります。

一方では、明るいニュースもありました。大分の宝、トリニータのJ1昇格。県民、企業、行政あげての支援も功を奏しました。今年はJ1定着を目指し、さらなる夢を託したいものです。続いて、NHK大河ドラマ『黒田官兵衛』決定のニュース。黒田官兵衛は、秀吉の軍師であり、その後豊前（大分県）中津12万石の大名になっています。ドラマ化による観光活性化も、大いに期待されるところであります。そしてもう一つは、大分駅ビル周辺再開発。大分駅の乗降者数は博多駅、小倉駅に次ぐ九州トップクラスであり、街の賑わいを創出するのは言うまでもありません。東九州自動車道の完成も近く、我が大分県は、にわかには活気を帯びてきました。厳しい時代、こういう時こそ、プラス指向であらゆる場面に積極的に対応していきたいと思えます。

さて、先に各省庁から2013年度の予算の概算要求が提出されました。これをみますと、我々の関係する2大省庁（経産省1兆1,648億円と総務省の17兆8,557億円）で倍額要求となっています。経産省では日本再生のための4大プロジェクトとして「グリーン」「ライフ」「農林漁業」「担い手としての中小企業」の4項目を最重要事項としており、あくまでITは産業を支える存在、あ

るいは成長を加速させる為のエンジンという位置付けで、どちらかと言うと後方支援の感がします。これに対して、総務省はICTを政策の前面に位置づけています。主なものとして、ビッグデータの利活用の推進、ICTを活用した街づくりの総合的推進、総合的なセキュリティ環境の構築、政府情報システムの刷新、自治体クラウドの推進、マイナンバーの付番のための準備等であります。この要求は、衆議院解散前のものではありますが、若干の遅れは予想されるものの霞が関主導で進むものと思われまます。これらをしっかりと注視しつつ、業界関連機関、団体との連携を強化し取り組むことが必要であると思われまます。

ところで、当面各協会が共通して持つ課題が、会員確保であります。会員に依存するところも多く、会員支援を強化し、会員増を図るしかありません。魅力ある協会とは、協会特有の取組みを強化するとともに、会員が求める情報や、会員に有効となる情報を提供する事が必要となります。

そのため、今年も各委員会を充実させ、会員が自由に活動できる場を提供したいと考えています。まずは新年早々、視察研修としてブリヂストン久留米工場視察等、興味深い計画を予定しています。新年例会では、元宝塚トップスターの穂高ゆう氏（宝塚78期生）をお迎えして、「宝塚歌劇団での学んだこと」と題して特別講演を行います。こちらは特に会員各社の女性の出席をお勧めします。そして、より一層の社会貢献活動の推進を目標に掲げ、様々な検討をしました結果、地域社会と深い関わりのある、「別府大分毎日マラソン」へのボランティア活動に今年も参加することにしました。世界中の関心を集めるイベントでもあり意義は大きく、参加者にとっても貴重な体験となることと思えます。

今後とも協会の皆様、そして関連団体、関連企業の皆様方、そしてまた多くの皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

終わりになりますが、皆様にとりまして2013年が夢と希望の持てる素晴らしい年でありますよう、心から御祈念を申し上げまして、新年の挨拶とします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

第24回OISA技術交流会開催

テーマ：「スマートデバイスを取り巻く脅威の現状とセキュリティ対策」

日時：平成24年11月6日（火） 15：30～17：00

場所：大分商工会議所ビル 6F大ホール

OISA技術交流会は、業界の最新技術動向について、産学官の先進的な研究成果やノウハウを持つ講師を招くことにより、大分県における情報サービス関連技術の向上及び発展を促し、更なる振興を図る事を目的に毎年開催されています。

24回目を迎える今回は、講師に独立行政法人 情報処理推進機構の加賀谷伸一郎氏をお迎えして、「スマートデバイスを取り巻く脅威の現状とセキュリティ対策」と題し講演いただきました。今回は27団体80名が参加し、大変活況を呈しました。

【講師プロフィール】

独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）セキュリティセンターの情報セキュリティ技術ラボラトリーに所属。

コンピュータウイルス・不正アクセスの届出受付および分析、情報セキュリティ関連相談への対応および分析、その他、情報セキュリティ対策全般の普及啓発活動に従事。

1991年に株式会社東芝入社。2003年に社内分社で設立された東芝ソリューション株式会社に転籍後は、情報セキュリティ関連ソリューション開発などに従事。

2004年10月よりIPA勤務。2007年7月にIPAに転籍。2011年9月より現職。

【講演内容】

1. スマートフォンの概要

スマートフォンについて、一般的・開発者・端末利用者の観点、OS、市場動向について紹介。2011年度国内スマートフォン市場のOS別シェアは、Android 58.1%、iOS 37.2%となっている。

2. スマートフォンウイルスの脅威

スマートフォンを狙ったウイルスは急増している。最近まで、日本の携帯電話市場は、ガラパゴスといわれたように閉鎖的だったため、攻撃の標的になりづらかった。しかし、スマートフォンは海外製を含めて多くの機器が共通の仕様となっているため脅威が広がっており、パソコンと同程度の管理意識が求められるようになってきた。

また、アプリケーション（アプリ）インストール時における注意事項として、管理が不十分、あるいは海賊版などを扱っているアプリマーケットは、ウイルスなどの不正なアプリが混入しやすい、等が紹介された。

3. 最近の被害事例

スマートフォンでも「ワンクリック請求」被害が発生し、SNSやメールで不正アプリへ誘導する被害事例もみられる。

また、公式マーケットにも不審アプリが存在しており、それらは、有名アプリ、他のスマートフォンOSで人気のアプリ名を含むもの、個人的嗜好や実用性をくすぐる文字列を含むといった特徴を持っている。パソコンとの被害を比較すると、位置情報、電話番号、メールアドレス等が抜き取られるなど、被害が大きくなる傾向がある。アプリのインストール時には、不自然・不必要な権限をアプリに許可しないことも必要である。



4. スマートフォンのセキュリティ対策

「スマートフォンを安全に使用するための6カ条」が紹介された。

- ① スマートフォンをアップデートする。
- ② スマートフォンにおける改造行為を行わない。
- ③ 信頼できる場所からアプリをインストールする。
- ④ Android端末では、アプリをインストールする前に、アクセス許可を確認する。
- ⑤ セキュリティソフトを導入する。
- ⑥ スマートフォンを小さなパソコンと考え、パソコンと同様に管理する。

さらに、提供元不明のアプリをインストールしないように設定したり、公式マーケットにあるアプリでも、念のため、アプリに許可する権限や評判を読み取るなどの対策、また、第三者に勝手に操作されないよう、暗証番号など端末ロックを設定することも重要である

5. プライバシー保護の問題

スマートフォンのデジタルカメラで撮影した画像をブログに掲載したら、位置情報が含まれていたため、撮影場所が特定された等の被害が発生している。このような被害を避けるためには、位置情報を利用しているアプリの設定状況を確認することも大切である。

6. ソーシャルメディアにまつわる話題

Twitter等のミニブログでは、第三者が著名人などを名乗るなりすまし行為が多く発生している。また、ミニブログを悪用した攻撃の手口として、短縮URLによって、ウイルス感染サイトへ誘導される事例などもある。

7. まとめ

- ・スマートフォンも、パソコン同様にウイルス感染の脅威にさらされている。
 - ・スマートフォンは、アプリ入手経路に特に注意する
 - ・ソーシャルメディアを経由した攻撃には、警戒感が薄れがちなので注意する。
 - ・パソコンもスマートフォンも、セキュリティ対策は必須である。
- （技術委員会）

第
21
回

サウンズコンテスト

日時：平成24年10月6日(土) 13:30～16:30

会場：ソフトパーク第2ソフィアビル2F ソフィアホール

ON THE COMPUTER

『第21回サウンズコンテスト On The Computer』は、10月6日(土)に大分市のソフィアホールで開催されました。応募曲は79名124曲を数え、その中から厳選なる予選を通過した24曲(フリー曲部門18曲、トリニータ応援歌部門4曲、その他応援歌部門2曲)で本審査を行いました。

また、今回から新たな試みとして「おおいた夢色音楽祭」との共催を行いました。そのため例年より開催時期が早まりましたが、「おおいた夢色音楽祭」の相乗効果と多くのメディアで取り上げていただいたこともあり、来場者は110名と、例年以上の盛り上がりとなりました。



小野敬一理事あいさつ



会場風景



田村洋彦審査委員長の講評



大島三平氏のユーモラスな司会



賞品

審査結果

	氏名	年齢	地区	タイトル
グランプリ	大山智司	23	神奈川県	黎明の空
フリー曲部門 1位	中原友莉恵	20	神奈川県	永久に想いて
フリー曲部門 2位	三浦光司	37	北海道	The Switch
フリー曲部門 3位	井上寛生	20	神奈川県	Samsara
トリニータ応援歌部門 最優秀賞	吉野信哉	21	大分市	Get Going ! TRINITA
トリニータ応援歌部門 優秀賞	山田愛歩	22	京都府	竹灯りの川
審査員特別賞	清水英	46	愛知県	玉飛鳥マーチ

今回はインターネットにより全国的に作品を募ったため、今までにない激戦となりました。その厳しい競争を勝ち抜き見事グランプリに輝いたのは、神奈川県の大山智司さんの作品『黎明の空』でした。この作品は、「ハリウッドクオリティのサウンドを目指しアクション映画の劇中曲のメドレー形式」というコンセプトで作曲されており素晴らしい出来栄でした。



グランプリ 大山 智司さん



フリー曲部門1位 中原 友莉恵さん

トリニータ応援歌

今回も、大分フットボールクラブの後援による「トリニータ応援歌部門」を実施しました。大分トリニータは、今シーズン6位からプレーオフを制し、来シーズンからJ1に復帰するという感動的な年となりました。それを予知するかのような元気溢れる楽曲ばかりでとても印象的でした。

このような中、最優秀賞に輝いたのは大分市の吉野信哉さんの作品『Get Going ! TRINITA』でした。

この曲は、来シーズンのホームゲーム開幕戦前に大分フットボールクラブへ贈呈され、向こう一年間大分銀行ドームで開催される大分トリニータのホームゲームのBGMとして使われることになっています。

観戦に行かれる方は、試合前に流されるこの楽曲に是非ともご注目ください。

最後に、応募曲の編集、会場設営等で大変ご苦労をおかけした日本文理大学関係者様、また、今回も多くの後援・協賛を頂きました各社様にも紙面をお借りして厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。
(イベント委員会)



トリニータ応援歌部門 最優秀賞 吉野 信哉さん



©OITA F.C.

審査委員

	氏名	審査歴	備考
審査委員長	田村 洋彦	17回目	大分大学名誉教授(音楽科)・九州沖縄作曲家協会会長・大分サウンドクリエイター協会 会長
審査委員	久保田 栄子	11回目	大分サウンズクリエイター協会 事務局長
審査委員	津行 孝充	4回目	大分県情報サービス産業協会 事務局長
審査委員	河野 敦朗	1回目	大分県立芸術文化短期大学 作曲コース 教授
審査委員	清水 慶彦	1回目	大分大学 教育福祉科学部 講師

第19回 OISA技術力アップ研修

本年度も大好評実施！

平成24年度実施しました技術研修内容は、OISA会員企業へのアンケートで皆様からの要望が多かった「プロジェクト管理研修」と、最近のホットな話題となっている「スマートデバイスのWebアプリケーション開発セミナー」の2講座を実施しました。

大分県産業創造機構との共催である「プロジェクト管理研修」では、PMBOK（プロジェクトマネジメントに関する知識体系）を軸に、プロジェクトマネージャとして、計画作成、作業の洗い出し、工数見積り、要員の配置、要員の作業範囲の策定、リスクの洗い出しと優先順位付け等について演習を交えて実施しました。

また、JISAの補助金を受けて開催したOISA主催の「スマートデバイスのWebアプリケーション開発セミナー」についてはHTML5やJavaScriptのWeb技術を利用して、スマートフォン等のアプリケーションを構築する技術を習得することを目的に実施しました。いずれも多数の参加者を得て、好評のうちに終了しました。

研修委員会が企画・実施する研修は、当協会会員だけでなく大分に事業所を持つ企業からも広く参加を募集しています。技術力の向上に役立てていただくとともに、この機会にぜひお互いの親睦も深めていただきたいと思います。

今後とも皆様のご期待に応えるべく、より良い研修を目指して参りたいと思いますので、ご意見・ご要望をお気軽に研修委員会までお寄せください。

また、皆様が積極的に研修に参加していただくことが研修活動の拡大・発展につながります。

来年度も多くの方のご参加をお待ちしています。

(研修委員会)

講座名	実施日	募集人数	参加人数（非会員）	参加企業数（非会員）
スマートデバイスのWebアプリケーション開発セミナー	10月25日(木) ～26日(金)	15人	19人（5人）	12社（3社）
プロジェクト管理研修	11月14日(水) ～16日(金)	15人	15人（3人）	11社（3社）



第18回 OISAボウリング大会開催

日 時：平成24年11月28日(水)
場 所：OBSボウル

今年度の OISA ボウリング大会が去る 11 月 28 日 (水)、22 社 36 チーム 144 名の参加を得て盛大に開催されました。

競技は 1 チーム 4 人で構成され、2 ゲームのトータルスコアで団体戦と個人戦が競われました。



優勝した大銀コンピュータサービスAチーム

競技終了後表彰式が行われ、森会長の挨拶に続き上位入賞者の表彰と賞品の授与が行われました。また、上位入賞者のスピーチと記念撮影があり、和やかな雰囲気大会を終了しました。

今大会より総務委員会からイベント委員会に引き継がれた初めての大会ということでしたが、当日は総務委員会のご協力もあり、無事に終了することが出来ました。

(イベント委員会)

団体戦の部

順位	チーム名	総得点
優 勝	大銀コンピュータサービスA	1,310点
準優勝	モバイルクリエイト	1,251点
3 位	九州東芝エンジニアリングA	1,235点
4 位	大銀コンピュータサービスB	1,229点
5 位	OLGO A	1,185点
6 位	オーイーシー A	1,164点
7 位	KCS大分情報専門学校B	1,157点
8 位	日立SC	1,134点
9 位	メルハンコンピュータシステムA	1,133点
10 位	大交ソリューションズ	1,122点



男子ハイゲーム賞	
長野 信二さん (大銀コンピュータサービスA)	397点



女子ハイゲーム賞	
福原 幸恵さん (モバイルクリエイト)	303点

平成24年度 第1回視察研修旅行

平成24年度第1回視察研修旅行は無事に終了しました。日程と視察先は下記のとおりです。

- ・ 日程：平成24年8月30～31日
- ・ 視察先：九州電力(株) 山川発電所（鹿児島県）
JX日鉱日石石油基地(株)喜入基地（鹿児島県）
(株)井関熊本製造所（熊本県）
- ・ 参加会員：12社19名



九州電力(株) 山川発電所にて



JX日鉱日石石油基地(株) 喜入基地にて

九州電力(株) 山川発電所

山川発電所は、海岸に近い田畑に囲まれ、開聞岳の眺望が美しい所にあります。九州では、大岳発電所（大分県九重町）、八丁原発電所（大分県九重町）について3番目、全国では7番目の地熱発電所です。

JX日鉱日石石油基地(株) 喜入基地

喜入基地は、日本国内の石油使用量約2週間分に相当する原油（735万キロリットル）を貯蔵することができます。また、各精錬所や日本海石油の油槽所へ配送する中継基地としての役割を持っています。

(株)井関熊本製造所

(株)井関熊本製造所は、平成13年4月、井関農機(株)の熊本工場が分社され設立、コンバイン（稲・麦を刈取り脱穀する機械）を製作しています。

(企画委員会)



(株)井関熊本製造所にて

新年例会のご案内

1. 日 時 平成25年1月23日（水）15：30より（受付 15：00～）
2. 場 所 トキハ会館 5階ローズの間 大分市府内町2丁目1番4号（097）538-3111
3. 新年例会
 - (1) 新年挨拶 15：30より
 - (2) 特別講演 16：00～17：30
 - ① 講師 穂高 ゆう氏
 - ② 演題 「宝塚歌劇団での経験から学んだこと」



<穂高 ゆう氏プロフィール>

福岡県出身。宝塚音楽学校を卒業後、宝塚歌劇団へ入団。78期生。

男役として1992年に初舞台を踏み7年間舞台で活躍。

退団後はモデルとして活動のほか、規律の厳しい宝塚での経験をもとにした企業講演、美しい体作りや所作の大切さをベースにした美容と健康のセミナー、ビューティーイベントでのウォーキングレッスン、主演コンサートなど多岐にわたり活躍中。

- (3) 新年祝賀会 17：30～